

令和6年度 第2回 我孫子市市民危機管理対策会議 会議の概要

- 1 会議の名称
令和6年度 第2回 我孫子市市民危機管理対策会議
- 2 開催日時
令和7年2月14日（金）午後2時00分
- 3 開催場所
我孫子市民プラザ ホール
- 4 出席又は欠席した委員その他会議に出席した者の氏名

会 長	我孫子市長	星野 順一郎
-----	-------	--------

○出席委員（31名 うち代理出席10名）

1号	自主防災組織を代表する者	飯 山 初 美
2号	陸上自衛隊需品学校長 代理 副校長	加 藤 武 則
〃	海上自衛隊下総教育航空群司令 代理 運用幕僚	矢 山 剛 市
3号	国土交通省千葉国道事務所長	藤 井 和 久
〃	国土交通省利根川上流河川事務所長 代理 保全対策官	延 常 浩 次
〃	国土交通省利根川下流河川事務所長 代理 地域防災調整官	永 井 一 郎
4号	我孫子警察署長 代理 警備課長	杉 山 龍 之 介
〃	東葛飾地域振興事務所長	小 川 康 博
〃	柏土木事務所長	大 出 正 弘
〃	松戸健康福祉センター長 代理 副センター長	鈴 木 利 博
5号	東日本旅客鉄道株式会社 我孫子駅長	舘 野 忠 明
〃	日本郵便株式会社 我孫子郵便局長 代理 総務部 課長	武 居 克 美

〃	東日本電信電話株式会社千葉事業部 千葉西支店 支店長 代理 災害対策室 室長	中 村 健 一
〃	東京電力パワーグリッド株式会社 東葛支社長 代理 支社長代理	岡 田 真 弓
〃	株式会社エナジー宇宙 導管管理部 部長	佐 藤 一 明
6号	副市長	渡 辺 健 成
7号	教育長	丸 智 彦
〃	水道事業管理者	古 谷 靖
〃	消防長	宮 崎 治
8号	企画総務部を代表する者	高 見 澤 隆
〃	環境経済部を代表する者	山 本 康 樹
〃	健康福祉部を代表する者	飯 田 秀 勝
〃	子ども部を代表する者	星 範 之
〃	建設部を代表する者	篠 崎 啓 一
〃	都市部を代表する者	中 場 聡
〃	市民生活部を代表する者	海 老 原 郁 夫
9号	消防団長	鈴 木 誠
〃	我孫子市薬剤師会を代表する者	和 久 井 綾 子
〃	我孫子市商工会を代表する者	村 越 孝 一
〃	社会福祉協議会を代表する者	横 田 光 夫
〃	我孫子建設業会会長 代理 専務取締役	板 橋 寛 泰

○欠席委員（8名）

3号	関東農政局 千葉県拠点 地方参事官	浦 杉 敬 助
5号	東日本旅客鉄道株式会社湖北駅長	菊 池 崇 之
〃	東日本旅客鉄道株式会社 我孫子保線技術センター所長	山 口 裕 二
8号	財政部を代表する者	中 光 啓 子
9号	手賀沼土地改良区理事長	秋 山 茂
〃	利根土地改良区理事長	遠 藤 秀 生
〃	我孫子医師会を代表する者	菅 森 毅 士
〃	我孫子歯科医師会を代表する者	小 川 英 郎

事務局	市民安全課 寺田課長、高橋課長補佐、酒井係長、秋山主任、粕谷主事
-----	-------------------------------------

5 議題

(1) 「我孫子市地域防災計画」の修正について

(配布資料)

資料1 我孫子市地域防災計画(素案)

資料2 令和6年度我孫子市地域防災計画の修正の概要について(案)

資料3 我孫子市地域防災計画(案)の修正について(パブリックコメント後)

6 公開・非公開の別 公開

7 傍聴人 1名

8 会議の内容

○事務局(高橋):会議の公開について

会議は、我孫子市審議会等の公開に関する規則に基づき行われる。傍聴人が1名いることを報告。

○事務局(高橋):会議の成立について

市民危機管理対策会議条例第6条第2項の規定により、本会議の成立要件である委員の半数以上の出席があることを報告。

○会長(市長):あいさつ

【議事内容】

≪議題(1)「我孫子市地域防災計画」の修正について≫

○事務局(酒井)より、資料に沿って説明。

≪議題(1)に対する質疑・意見≫

○延常委員

三点ほど確認したい。

①資料3の「令和6年度我孫子市地域防災計画修正に係る地域防災力アンケート」について「防災行政無線の可聴状況」とあるが、調査結果及びアンケートで防災行政無線が聞こえないと回答した場合、どのように対応したのか。

②来週実施される福祉避難所運営訓練について、他の市町村では取り組みが

難しいと聞いている。情報提供をお願いしたい。

③緊急輸送道路について、新たに指定された 00-023 号線は県指定だが市道で間違いないか。

○事務局（酒井）

①アンケートでは、平常時の屋外にてどのように聞こえているかという質問に対し「よく聞こえている」「どちらかと言えばよく聞こえている」「聞こえるときと聞こえないときが半々である」「どちらかと言えばあまり聞こえない」「全体的に聞こえない」の5段階で回答を求めており、概ね「どちらかと言えばよく聞こえている」「聞こえるときと聞こえないときが半々である」の回答であった。しかし、台風時等の家の中では聞こえづらい状況もあるので、市では防災行政無線のほかに LINE やメール、フリーダイヤルによる音声案内など様々な手法を用いて情報提供を行っているので、これらを周知している。

②福祉避難所運営訓練については、事後ではあるが市のホームページ等で広く市民にも報告している。今後は関係機関にも周知していきたい。

③お見込みのとおりです。

○飯山委員

この防災計画は市民ひとりひとりの命を守るため、適宜修正を繰り返しきめ細やかな計画となっているが、市民には浸透していない。自主防災組織の集まりにおいても「自治会の担当者になったから参加しているが、何をするのか理解していない」という方が多い。ハザードマップを見たことが無いという方もいる。最近では、多くの災害が発生しているものの毎日ではないため「自分の命は自分で守る」「災害に備える」等の危機管理意識が非常に低いと感じている。意識を向上するにはどうしたらよいか、常に悩んでいる。

○事務局（酒井）

先ほど説明したアンケート結果においても、自治会の高齢化、すなわち要配慮者が増えてしまい自治会では対応しきれない、他に「自分たちは災害に対して出来ることは無いので市役所や関係機関、警察や自衛隊等の公助に期待する」等の意見が圧倒的に多い。このようなアンケートを行うと「自分たちではなく、誰かが助けてくれるもの」という意見が数多く寄せられる。これらの意識改革に特効薬は無く、説明会等を開催して自助・共助の重要性や危機管理意識の必要性を地道に周知していくしかないと考えている。

◎委員多数の挙手により、我孫子市地域防災計画の修正は素案のとおり承認されました。

4 その他

事務局より令和6年度版「あびこハザードマップ」について説明。
(質疑等なし)

5 閉会

以上